

UVニス

## UV フィルム用 OPニス

『UV フィルム用 OP ニス』は、耐摩擦性・耐スクラッチ性を強化したオフセット印刷用紫外線硬化型 OP ニスです。主にフィルム印刷の際のインキ皮膜の保護・強化の目的で使用されています。

## ■ 特 徴

- ▶ 耐摩擦性・耐スクラッチ性が優れている。
- ▶ UV 硬化性や印刷適性が良好である。
- ▶ 黄変しにくい。
- ▶ 下地 UV インキ上へのトラッピングに優れる。

## ■ 一般性状

タック値	: 3.3±0.1	(インコグラフ、400rpm、WT: 38.0°C)
フロー値(D <sub>60</sub> )	: 35±5.0mm	(平衡板粘度計、RT: 25.0°C)

## ■ 使用上の注意

- ▶ 下地インキが UV インキ用です。油性インキ上の UV OP ニスとして使用することはできません。
- ▶ 糊付けや箔押しなどの後加工性はありませぬ。糊代が必要です。
- ▶ 一部原反には直刷りでも密着することがありますが、ほとんどの場合、下地に UV インキが必要となります。もしインキがない場合には、“UV アンカー”等を先刷りした上に印刷するようにして下さい。
- ▶ 主としてフィルム原反によく使用されていますが、一般紙への印刷も可能です。
- ▶ ニスの粘度調整の際は、『UV DG レジューサー』を5%以内でご使用ください。『No.2 UV コンテックス』ご使用の場合、密着性が低下する場合がありますので予め確認願います。
- ▶ 太陽光が当たる場所であったり、インキ壺の近いところに蛍光灯などが設置されていたりしますとニスが硬化しますので注意が必要です。
- ▶ インキ盛り過ぎやランプの劣化により、効果不良・密着不良が発生する可能性がありますので、ご注意ください。
- ▶ 助剤・洗浄剤・版材については、UV インキ用のものをご使用下さい。
- ▶ 火気に注意し、作業場は十分に換気し、紫外線や直射日光を避けて取り扱ってください。吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れない様に適切な保護具を着用ください。衣類などに付着した場合は、直ちにその汚れを落とし着替えて、汚れ部分が長時間接触することを避けてください。取り扱い後は、手洗いとうがいを十分に行ってください。

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。

- ▶ 目に入った場合、直ちに多量の水で15分間以上洗い流し、眼科医の手当を受けてください。皮膚に付着した際は、汚染衣服や靴等の汚れを落とした後も、付着部または接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流してください。もし、皮膚に炎症やかゆみを生じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- ▶ 本製品を御使用の際には、事前に安全データシート(SDS)を良くお読みください。



2022/02/08 No.1

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。